2016年2月号「vol.68」◎編集：新井絹世　横浜市磯子区丸山2-24-3　◎電話：045-751-5250 ◎FAX：045-761-7451

県議会議員

あらい絹世の 磯っ子レポート

県政をもっと身近に

http://www.araikinuyo.jp

年間収入300万円未満の家庭が75％ 神奈川県が初の「ひとり親家庭調査」

先ごろ政府が発表した2014年の1人当たりの名目国内総生産は前年比6％減の3万6200ドルで、経済協力開発機構に加盟する34カ国中20番目の低さでした。停滞する国民生活の中でも、とりわけ高齢者世帯や母子家庭などの一人親家庭の貧困が問題になっています。昨年6月の自民党代表質問を受け、神奈川県では先ごろ初めて行った「ひとり親家庭の実態調査」の結果をまとめる一方、国に支援制度の充実を求める働きかけを行いました。全国のひとり親家庭は約164万余世帯、このうち神奈川県は6万1990世帯で、調査は家族構成、現在の就業調査、年間の収入、教育費、過去1年間に経済的理由のため支払いができなかったり滞ったことなど、12項目のアンケートと自由に意見を述べてもらう項で実施。過去1年間の家族全体の収入では200万円未満が44.4％、200万～300万円未満が30.4％など貧困にあえぐ生活ぶりや、「ゆっくり子どもと過ごす時間がない」といった自由意見など、厳しい実態が浮き彫りにされています。

アンケートは対象者の1％余に当たる有効回答651件を基にしたものですが、県では「調査に気付いた人だけに回答していただいたので少なかったですが、愛育研究所の専門家から『サンプルが400を超えた調査の結果はかなり妥当性がある』との指摘を受けました」と話しています。主な調査結果は―。

≪回答者≫母子家庭が97.4％。子どもは1人が52.7％、2人が34.1％。

≪現在の就業状況≫「パート・アルバイト・非正規職員」51.5％、「常勤・正規職員」37.6％、「家事無職（仕事を探している）」4.3％など。

≪過去1年間の家族全体の収入≫「100万～200万円未満」35.7％、「200万～300万円未満」30.4％、「300万～400万円未満」17.3％、「100万円未満」8.7％。

≪月々の就労による収入≫10万～15万円未満が29.2％、15万～20万円未満が27.3％。20万～30万円未満が19.2％。

≪預貯金≫0円が33.9％、11万～50万円が11.3％、201万円以上が16.5％。

≪養育費≫離婚した相手に子どもの養育費をもらっているケースは31.1％のみ。

≪ひとり親家庭支援のためこれから拡充が必要と思う制度≫「児童扶養手当などの現金給付の拡充」を望む声が圧倒的多数（政府は同手当の増額などを来年度の予算案に盛り込んでいる）。日本の子どもの貧困率は16％を超えており、貧困家庭のため希望する教育を断念せざるを得ない中で自身も貧困に陥る「貧困の連鎖」の問題が大きく指摘されています。

コレが言いたい！

本県のひとり親世帯の今後の増加率は東京に次いで2番目に高く、今後10年で2割以上増加すると予想されています。貧困が世代を超えて連鎖しないよう「教育支援」や「生活支援」「経済的支援」「保護者に対する生活支援」など子供の貧困対策には総合的な支援が必要です。

今月のひと言

2月15日（月）から平成28年第一回定例会が開会します。期間は、3月24日（水）までの39日間。本会議や常任委員会、予算委員会の傍聴も可能です。傍聴をご希望の方は、あらい絹世事務所（TEL：751-5250）までご連絡下さい。

磁子 あれ？これ？

根岸小学校

明治6（1873）年根岸の大聖院内に志敬学舎として誕生し、設立時は教員が3人児童数33人でした。尚、この年には磯子小・杉田小も設立されました。「根岸学校」の名称は明治8年に、現在の場所に新築移転したのは明治14年5月11日で、この日を開校記念日としています。

昭和22年新しい学校制度の実施により根岸中学校の校舎に当てられるため休校となり、磯子滝頭小学校に組み入れられましたが、地元の方々の署名活動により昭和25年復活開校しました。

小学校のシンボルで校庭にある大楠は、今年で樹齢121年目になります。明治28年有栖川宮の台湾出兵によって統治がなされた記念に台湾から苗木が内地に送られ、当時の中野健明神奈川県知事を通じて根岸小学校へも3本寄贈されました。今残っているのは「くす太郎」「くす次郎」の愛称で親しまれる2本です。当時は、校庭の隅にありましたが、校舎の建替えや増築により1本は校庭の真ん中にそびえ、子供達の成長を見守っています。

開校以来の卒業生も1万8千人を超えています。昨年5月1日時点での児童数は、男子326人　女子288人です。

参考資料：磯子の史話、根岸小学校創立140周年記念リーフレット

活動報告

1月21日、三重県議会「手話言語条例検討会議」の方々が、平成26年12月に議員提案により条例制定した本県に来庁されました。神奈川県手話言語条例検討会議の一員として、制定に至るまでの経緯など視察対応を致しました。本県は今後手話の普及等を進めるため、「神奈川県手話推進計画」を3月に策定します。県民の皆さんに対し、ろう者や手話への理解を促進し言語である手話の推進を図ります。また、県民が身近に手話を学ぶ取り組みを進め、日常生活で手話を使用する機会が充実するよう取り組んでまいります。

あらい絹世 プロフィール

- ●昭和43年3月8日　横浜市磯子区生まれ
- ●横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- ●明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- ●日商岩井㈱ / ㈱メタルワン
- ●自民党かながわ政治大学12期生
- ●平成27年4月 県議会議員2期目当選
- ●県民企業常任委員会委員
- ●行財政改革・地方分権特別委員会副委員長
- ●自民党神奈川県議会議員団政務調査会副会長

あらい絹世に対するご意見・ご感想・ご要望・メッセージをお寄せ下さい・・・・・・・・・・・ FAX 045-761-7451